

東京産業考古学会 講演会

# セルロイド産業の 盛 衰

-社会と文化に与えた衝撃（インパクト）-

講 師

セルロイドハウス横濱館館長

岩井 薫生 氏



セルロイドはキューピー人形として有名でしたが、今でもピンポン用のボール等として使われています。日本のセルロイド産業は昭和10年代には世界一でした。セルロイドの歴史を、実物と最近発見された映像を交えて解説します。

2月26日（土） 15:00~16:30

会場：物流博物館 2階

東京都港区高輪 4-7-15

品川駅徒歩7分・都営浅草線高輪台駅徒歩7分

参加費：1,000円

申込先：物流博物館 ☎03(3280)1616

協力：物流博物館

